

西宮市議会だより

Nishinomiya city assembly news



9月定例会
第149号

TOPICS

▶ 西宮市議会における新型コロナウイルス感染症対策



撮影場所：鷲林寺

CONTENTS

- 9月定例会の主な内容、審議日程など 2
- 一般質問、12月定例会の開催予定 3～7
- 委員会の活動状況 8～9
- 議案等審議結果一覧表 10
- 西宮市議会における
新型コロナウイルス感染症対策 11
- 市議会ホームページの情報
市議会クイズ、表紙写真を募集中 12

一般会計

歳入	2,402億4,284万円	(36.2%増)
歳出	2,352億 837万円	(34.3%増)

特別会計

歳入	885億 547万円	(0.0%減)
歳出	869億6,033万円	(0.2%減)

企業会計

当年度純利益 (▲純損失)	水道事業会計	6億2,710万円
	工業用水道事業会計	9,877万円
	下水道事業会計	5億2,539万円
	病院事業会計	▲3億5,852万円

(カッコ内は前年度比)

令和2年度の各会計決算を認定しました。一般会計では、国が講じた特別定額給付金事業や地方創生臨時交付金を活用した事業など、新型コロナウイルス感染症対策関連経費の増により、歳入・歳出ともに前年度決算額を大きく上回りました。実質収支は47億3千万円の黒字となっており、その半分は財政基金に積み立て、残る半分は3年度の財源に活用されます。

人・個人事業者のための月次支援金は、月間売上の減少率が前年同月の50%以上であることを要件としています。また、県は、飲食店等の休業や酒類の提供自粛の影響を受け、対象月の売上が30%以上50%未満減少している酒類販売業者に支援金を給付しています。そこで本市で

は、対象月の売上が20%以上減少しており、国や県の支援金の受給ができない市内の中小・小規模事業者を応援するための給付金事業が行われます。

本市における支援拠点は、市役所本庁舎7階に設置が予定されており、令和3年度中の開設に向けて、子ども家庭支援員の増員や、相談室と親子の交流スペースの整備が進められます。



表紙写真…「鷲林寺の紅葉」多治見 ひろゆき 寛之さん(梁殿町在住)応募作品の中から、広報委員会でこの作品が選ばれました。

9月定例会

主な内容

9月定例会の主な内容をお知らせします。全ての議案等の審議結果はP10をご覧ください。



令和2年度決算
認定

補正予算の概要
可決・全会一致

主な審議日程

8月	
31(火)	本会議 提案説明
9月	
6(月)	
7(火)	本会議 一般質問 (15人)
8(水)	
9(木)	本会議 質疑、委員会付託、追加議案
13(月)	常任委員会 (総務、健康福祉、教育こども)
14(火)	常任委員会 (民生、建設)
16(木)	本会議 委員長報告、討論、採決、提案説明、委員会付託 (決算) 決算特別委員会 (全体会)
24(金)	決算特別委員会 (総務、健康福祉、教育こども分科会)
27(月)	決算特別委員会 (総務、健康福祉、教育こども分科会)
28(火)	決算特別委員会 (総務、民生、建設分科会)
29(水)	決算特別委員会 (民生、建設分科会)
10月	
4(月)	決算特別委員会 (全体会) 常任委員会 (総務、民生、健康福祉) 本会議 委員長報告、討論、採決 (決算)

所管事務調査 (民生常任委員会)
施策研究テーマ「新型コロナウイルス感染症対応としての産業振興について」提言を受けての市の対応について

所管事務調査 (教育こども常任委員会)
子ども家庭総合支援拠点の設置について

西宮市議会では、常任委員会ごとに年間の「施策研究テーマ」を選定し、重点的に調査・研究等を行っています。

国は令和4年までに、要支援児童や要保護児童を含むすべての子供とその家庭及び妊産婦への必要な支援を担う支援拠点を、全市区町村に設置する計画を打ち出しています。支援拠点では、実情の把握、子供等に関する相談や通所・在宅支援を中心としたより専門的な相談対応や必要な調査、訪問等による継続的なソーシャルワーク業務が行われます。

請願

▽すべての学年でただちに35人学級を実現することを求める請願
▽全国学力・学習状況調査の悉皆実施中止を求める請願

【不採択】

一般質問

15人の議員が、市政に対する一般質問を行いました。質問の一部をご紹介します。



野口あけみ
日本共産党
西宮市会議員

日常生活用具給付の拡充

問 障がいのある人もない人も同じように当たり前の権利と自由を認め、社会の一員として尊厳をもって生活することを目的とした「障害者権利条約」は2014年、種々の国内法の整備を経て日本国でも批准された。様々なバリアを取り除く「合理的配慮」の提供が行政に求められているが、市の対応は不十分である。日常生活用具給付について、本市の給付種目がない音声圧計は中核市の半数が給付しており、また点字ディスプレイは同じく8割近くが視覚障害単一で給付している。本市でも改善せよ。

答 日常生活用具は利用者が多く、各種関係団体から様々な要望があるため、給付種目や対象範囲の拡大は、他市の状況等

を踏まえて検討する。

補聴器購入補助制度の創設

問 難聴は認知症発症の危険因子の一つであるが補聴器は高額なため、補聴器購入補助制度が全国で広がりつつある。まずは難聴になると情報取得が圧倒的に困難となる視覚障がい者に、補聴器購入補助制度を創設すべきと考えるが、市の考えは。

答 視覚障害者への補聴器購入補助は、補聴器が支給されない聴覚障害の手帳所持者との公平性や財源等の課題があるため、国県の動向を注視し、研究する。(質問時間46分)



つえだ あつし
政新会

市営住宅整備指針策定における市民の意見

問 現在、本市では市営住宅の建て替えが行われており、整備指針では高齢化への対応と

もに、地域社会への貢献に資する共同施設(集会所等)を整備するとある。しかし市の考える高齢化対応・共同施設の設置は市民にとって十分なものとは言い難い。整備指針は令和7年度完成予定の城ヶ堀町市営住宅をパイロットケースに完成させる

との事であるが、ここから完成までに、どのようにして市民の意見を取り入れていくのか。

答 各住宅の計画説明時に、周辺住民より集会所等に関する意見やニーズを聴取し、周辺住民の使用も想定した設計を行うなど、より良い市営住宅整備につながる指針の策定を進める。



建て替え予定の市営城ヶ堀町住宅

昼休憩時の消灯

問 正午〜午後1時の間、本

庁舎執務室ではほぼ全ての蛍光灯を消灯している。薄暗い中で昼食は不健康であり、環境衛生上、問題がある。今後は明るく健康的な環境で昼食を摂っていただくべきと考えるが、市の考えは。

答 昼食時も含め、快適な職場環境の確保は重要であることから、今後は必要な照明は点灯する等執務室の実態に合わせて柔軟に対応できるよう周知する。▼その他の質問 災害対策基本法改正と個別避難計画 (質問時間62分)



山口 英治
公明党議員

通学路の安全対策

問 通学路合同点検において、危険・要注意箇所対策を行つたにも関わらず、学校側から安全性が以前と変わらないと評価された箇所について、その後どのような取り組みを行っているのか聞きたい。

答 物理的な対策が困難なケースなど、安全性が以前と変わらないと評価された箇所が残っていることは、教育委員会とし

65歳以下のワクチン接種

問 コロナ対策における65歳以下のワクチン接種を進めるため、本市の接種方法として80%を占める個別接種に対する広報をより詳細に行うべきと考えるが、市の考えを聞きたい。

答 市民への接種を円滑に進めるためには、接種希望者がこの医療機関で接種を受けることができるのかを簡単に把握できることが重要であるため、現在、市ホームページでの掲載方法の見直しを行っている。さら



安全対策実施例(ポストコーン設置)

でも重く受け止めていく必要がある。通学路の変更や児童への安全指導などソフト面の対策も併用しつつ、学校からの聞き取りや協議を行い、可能な解決策を探る努力を学校と行っていく。

に、予約枠の空き状況が一目で分かる市の集団接種の予約システムを個別接種で活用することができないかを関係機関と調整を進めている。

(質問時間59分)



障害児の通学支援

本市は、障害者総合支援法による、障害児の移動支援事業を実施している。その利用については、保護者の入院など緊急時に認められた場合に限り、保護者の就労で毎日の登下校の付き添いができない場合は使えない。本来ならすべての人が使えるようにすべきだ。枚方市は「障害児の通学支援事業」を実施しているが、このような事業を本市でも実施できないか。

答 通学に付き添いが必要な場合、保護者の就労に影響があることは課題として認識している。障害児の通学支援について関係部署と連携し、検討する。

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症

症の第5波は、本市でも50代以下や10歳未満の子どもにも感染が広がり、感染者が拡大している。国は「原則自宅療養」に方針転換した。9月5日現在、自宅療養、入院調整の人が合わせて476人もいる。重症化し、自宅で亡くなることは絶対にあつてはならない。医師の往診、訪問看護、保健所との連絡体制等は、どのようになっているか。

答 速やかな往診、医薬品や酸素濃縮器の手に加えて、アプリによる健康観察、医療関係者との情報共有を効率化するシステムを導入し、より迅速かつ円滑な対応が可能となっている。(質問時間51分)



防災ネットによる避難情報等の配信

災害時の防災ネットによる避難情報等の配信の際に、避

難所に持参するものを記載してはどうか。

答 避難の際に必要な持ち出し品等は防災マップやホームページ等で啓発しているが、今後は食料など特に必要なものを防災ネットのメールに掲載する。

地域型保育事業の活用と新設保育所との需要バランス

小規模保育所を含む地域型保育事業の活用と合わせて保育所の経営を考えると、新設する保育所と需要のバランスをどのようにとるのか。

答 新しい保育所の整備だけでなく、様々な手法を用いて待機児童対策を行っていく必要がある。地域によって施設の配置や待機児童の状況が異なるため、地域にあった対策を講じていく。

リゾ鳴尾浜の今後

リゾ鳴尾浜の営業が終了し、現在、民間活力導入可能性に関する市場調査を実施しているが、事業者の提案の審査にあつたての市の基本的な考え方はどうか。

答 市が直接事業運営や修繕費用の負担を行わず、収益部分については、土地・建物の使用

料を適切に徴収することを前提に、提案事業が持続可能であり、地域の特性や魅力を活かすことができるか等を審査予定。(質問時間60分)



閉館したリゾ鳴尾浜



地域に根差したファミリーサポート事業

地域にそれぞれ拠点を置きコーディネーターの配置を複数人とするなど、地域に根差したファミサポとなるよう工夫してはどうか。

答 地域でのマッチングの課題について整理し、依頼会員のニーズに寄り添った、よりきめ細やかなマッチングに向け、地域との連携方法を研究していく。

乳幼児子育て相談の拡充と広報を

虐待未然防止の観点から子育て総合センターでの乳幼児子育て相談の拡充をし、広報してはどうか。

答 関係機関と連携を図りながら、子育て支援を進めていく。また、きめ細やかな情報発信ができるよう、LINEを活用した広報にも取り組んでいく。(質問時間26分)



子育て総合センター



厳しい財政状況への対応は

新型コロナウイルス感染症が社会経済に深刻な影響をもたらしている。本市においても



その対策や関連事業に多額の支出を行っており、厳しい財政状況になっている。令和4年度予算案はどのような方針で編成するのか。

答 感染症の影響により落ち込んだ市税収入の回復に期間を要することが見込まれる。社会保障関係経費の伸びや公共施設の改築・改修に係る費用の増大も引き続き見込まれ、基金取り崩しに頼らざるを得ない厳しい財政状況が続くと予想される。4年度当初予算案では、内部事務経費の削減や既存事業の見直しなどによる財源確保に努め、めりはりのついた編成が必要と考えている。

名神湾岸連絡線の環境問題で専門家の活用を

問 令和3年度に新規事業化された名神湾岸連絡線が生活環境に与える悪影響について、多くの沿道住民が不安をもっている。市は環境問題で専門家を積極的に活用し、兵庫県などに意見を提出できる体制を整えるべき。市の考えは。

答 市が事業者や関係機関と連携して市民の疑問点の解消等に努めることが重要であり、必

要に応じて専門家の意見を取り入れることにより市民の理解が一層進むように取り組んでいく。(質問時間45分)



名神湾岸連絡線の位置図



たかのしん 会派・ぜんしん

民間住宅の省エネ促進を

問 本市は「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言したが、具体的な施策は示されていない。実効性を高めるには民間住宅の省エネ促進が不可欠であり、補助制度を充実・強化すべきでは。

答 脱炭素社会を目指す上で、住宅における省エネは重要な課題である。住宅用設備等の導入支援を継続するとともに、有効

な支援策について検討していく。自習環境の向上を

問 中高生が集中して学習できる場は重要である。稼働率の低い公共施設を学習室に転用し、WEB予約制を導入する等、自習環境の向上を図るべきでは。

答 公共施設を活用した学習室整備は有効な施策であり関係部署間で調整する。利用しやすい環境づくりに努め、中高生への積極的な情報提供も検討する。



介護予防事業の多角化を

問 年齢を重ねても健康を維持していくには、社会参加の機会が重要である。高齢者の多様な興味・関心やニーズに応じた介護予防事業を実施すべきでは。

答 高齢者の生きがいづくり、社会参加等を促進する取り組みの強化が必要である。介護予防事業の効果検証を行い、メニューの拡充・多角化を検討する。

▼その他の質問 空家対策、耐震化、文化振興財団のあり方 (質問時間63分)



坂上 明 政新会

緊急時の下校方法

問 児童生徒の安全の為、万全を期す事は学校現場では最上位に位置する重要課題である。今夏の一連の豪雨災害時には、幸い本市は大災害を受ける事は無かったが、台風シーズンを控えリスフシナリオを想定し、完璧な安全対策マニュアルを早急に作る必要があるかどうか。

答 豪雨に伴う警報発令時の対応をひな形として示し、各校が作成する令和4年度の防災計画、防災マニュアルに追記する予定としている。

染殿池について

問 日本書紀には約千七百年前、時の応神天皇が縫工女を求め呉の国に使者を遣わし、漢織・呉織という二人の織姫を連れ帰り、機織の技術を伝えたという織姫伝説がある。この口碑が染殿池の由来となり、染殿町・

津門綾羽町・津門呉羽町の町名発生の源となる。あまりに美しい古代ロマンの一説であるが、今の染殿池にはそのロマンたるや微塵も感じられず、市として手段を講ずるべきかどうか。

答 染殿池の伝説を刊行物に記載する等記録保存に努めてきたが、今後多くの方に知っていただけるよう工夫を凝らした説明板を設置する等PRに努める。▼その他の質問 新陸上競技場北朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」ほか (質問時間68分)



お隣とく 漢織 呉織 伝承地(染殿池)



江良 健太郎 維新の会 西宮市議団

学校での熱中症対策

問 熱中症は未然に防ぐ予防



が大切である。学校では過去5年で44名が搬送や受診されている。対策を各自に任せているのではなく、学校として未然に防ぐ予防をどうしていくのか。

国「学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引き」を参考に、規則正しい生活の啓発や熱中症を未然に防ぐ対策の重要性を学校に伝えていく。



路上で発見した動物遺体の対応

路上の動物遺体は平日は午前9時〜午後7時で収集しているが休日への対応はしていない。放置しては次の事故にもつながりかねないので休日も対応することはできないか。

ごみ電話受付センターは、土日は午前9時から午後5時まで受付し、翌開庁日に対応。平日夜間や休日に行きの妨げとなっている場合は、市の代表番号に電話をすれば一定の対応が可能。

企業版ふるさと納税制度

企業版ふるさと納税制度

は令和6年度末まで延長され、予算シーリングしている中、積極的に活用すべきと考えるが、今後の展開はどうか。

3月に国から認定を受け、パンフレットやホームページの作成を進めている。今後本市と縁のある企業等に市長自ら訪問し、積極的にPRしていきたい。(質問時間49分)



悪質商法・特殊詐欺への取り組み

昨年9月議会でもこの問題を質問してきたが、まだまだ被害件数が多い。市はどのように取り組みをできているか。

ホームページや市政ニュース等による注意喚起の他、特殊詐欺多発地域や駅前等での啓発活動、青パトでの市内巡回、通話録音装置の貸与に加え、コロナワクチン集団接種会場でポスターによる啓発に取り組んだ。

武庫川の氾濫時の備え

洪水時の避難対応および初動対応について市はどのように行っているか。

段階的に避難所の開設を行い、避難指示などの避難情報発令時には、防災スピーカーや緊急告知ラジオ、テレビ、にのみや防災ネット、広報車などを用いて、市民に身の安全を確保する行動を呼びかけている。



武庫川

アフターコロナを見据えて巣ごもり影響への対応

子供たちの肥満や視力低下が増えてきているが、スポーツクラブ21に、みやっこ元気寄付金の活用も視野に入れて可能な限り追加予算を計上してはどうか。

県から配布の運動備品を活用した事業の補助対象枠を広げ、市の補助事業の活用例をスポーツクラブ21に伝えることで、子供たちが参加しやすい事業展開ができるよう支援する。(質問時間51分)



八代 毅利 公明党議員団

濃厚接触者がPCR検査を受ける方法

保健所から連絡が来ないの自分で受けた人がいる。直接PCR検査を受ける方法は。

濃厚接触者が医療機関受診時に医師が必要と判断すれば、保健所を通さず行政検査を受検できる。積極的疫学調査の際に感染者にその旨を伝えている。

避難所となる小中学校への再生エネと蓄電池の積極導入

国は30年度までに地方公共団体の施設約半数への太陽光発電設置を課している。横浜市の事例を参考に学校に太陽光発電設備と蓄電池を導入しては。

PPAの仕組みを活用した太陽光発電設備と蓄電池の同時設置は、CO2排出量の削減やエネルギーの地産地消等の面で効果的な手法である。本市の学校への導入可能性について、他市の事例を参考に検討する。

本市の鉄道駅へのホームドア設置

2年前の一般質問に対し事業者に設置を働きかけると答

弁したが、その後の進捗は。

西宮北口駅のホームドア設置について協議を進めており、令和4年度から3カ年かけて神戸本線ホームに整備予定と聞いている。阪神甲子園駅など設置の必要性が高い駅についても各鉄道事業者と協議していく。

その他の質問 地球温暖化対策、DXの推進、空家対策、鳴尾の課題 ほか (質問時間88分)



可動式ホーム柵(阪急神戸三宮駅)



篠原 正寛 政新会

市内産業の振興

市内全法人のうち本市と直接取引する事業者は一部にとどまるが、企業市民を謳う本市自身が毎年約200億円程度の

事業・物品発注を行う巨大発注機関であることを自覚・活用せず、これら企業の盛衰に無関心であるならば、企業市民など成り立たない。過去提案してきた市内産業振興策のうち、「学校園他市の機関で使う少額物品力タログ販売の代理店を市内事業者に切り替えること」「隣接市の市内企業優先発注にどう対抗するか」「本市の入札・少額発注における市内業者優先施策を庁内にどう浸透させるか」「これらの永続性を担保するため産業振興条例の改正が必要と考えるかどうか」「危機管理にかかわる発注の市内事業者の位置的優位性をどう考えるか」以上5点の進捗及び市の考えを示せ。

☑ カタログ販売代理店の切り替えは9割以上の学校園で完了。隣接市の施策に対しては本市でも優先発注を盛り込んだ入札指名に関する要綱等を定める。市内事業者で取り扱いがある場合は見積依頼を行うよう少額隨意契約の要領に記載する。産業振興条例の改正は審議会の議論を踏まえ検討する。危機管理に関わる発注の優位性は立地特性の考慮を含め施設管理事業者が

担う役割を仕様書等に明確に定め実効性のあるものを検討する。
(質問時間61分)



大迫 純司郎
会派・ぜんしん

福祉避難所開設における社会福祉施設との連携強化

☑ 福祉避難所は災害が起ったとき、高齢者や障害者等の要配慮者を受け入れる避難所です。重傷病者等の避難者も来所するため、感染症対策や安心して開設運営ができるよう社会福祉施設と情報交換を強化すべきだと思いが市の取り組み方針は。

☑ 平時からの連携が重要なため、ウェブ会議などによる社会福祉施設との情報交換を行い、コロナ禍における福祉避難所の開設に向けて協議検討していく。

生涯現役社会の実現に向けた取り組み

☑ 高齢者が生涯にわたりやりがいのある仕事に従事できれば経済的に自立し社会参加できる。生涯現役社会実現の取り組みを強化すべきだが市の考えは。

☑ シルバー人材センター等が高年齢者の雇用等を確保しニーズに応じた就業機会を提供す

る。今後も生涯現役社会の実現に向けセンター等を活用する。



西宮市シルバー人材センター

国民健康保険の第三者行為求償事務の市民への周知

☑ 国保の加入者が事故等の第三者行為によるけがで保険証を使用する場合、市への届出義務がある。周知等の取り組みを強化すべきだが、市の考えは。

☑ 第三者行為による傷病の保険者への届出義務について、効果的な周知方法を検討する。また、医療機関と連携して国保制度の円滑な運営に努める。



多田 裕
維新の会
西宮市議員

芸術・文化活動振興

☑ 少子化や高齢化に加え、

価値観や生活スタイルの多様化により、地域で伝承されてきた祭りや芸能を維持することが非常に困難になってきている。今後のウイズ・コロナ時代において、市として地域が伝統行事を継続・継承していけるように何か支援をすることができないか。

☑ 文化庁の補助事業を積極的に活用し、祭礼用具の整備や映像記録の作成を実施している。国や県と協力しながら、貴重な地域文化の継承を支援していく。

地方創生SDGsへの取り組み

☑ 内閣府では、地方創生SDGsの推進に当たり、その達成に向けて優れた取り組みを提案する地方自治体を「SDGs未来都市」として選定し、その中で特に優れた先導的な取り組みを「自治体SDGsモデル事業」として支援し、成功事例の普及を促進している。近隣では明石市や姫路市、豊中市等が選定されているが、本市の方針は

☑ 未来都市の認定を受けるのが目的ではなく、真に持続可能な都市をいかに作っていくかが重要であり、シチズンシップの醸成や環境政策推進会議の立

ち上げなど、SDGsの理念に沿った施策を進めてきた。今後も積極的に国や県、他地域の動きを見ながら、環境学習都市としてふさわしい施策を推進する。
(質問時間47分)

12月定例会の開催予定

11月		12月					11月
29(月)	本会議 提案説明など	3(金)	6(月)	7(火)	8(水)	10(金)	13(月)
		本会議 一般質問	本会議 一般質問	本会議 一般質問 質疑など	本会議 採決など	予備日	常任委員会

▽開催予定時刻は10時です。
日程は変更される場合があります。
▽お問い合わせ：議会事務局議事調査課
0798353378

委員会活動状況

総務 常任委員会

- 大石 伸雄^長 まつお正秀^副
- 大川原成彦 河本 圭司
- 中尾 孝夫 八木米太郎
- 八代 毅利

8月に施策研究テーマを3項目確定しました。

①「第5次西宮市総合計画にかかる事業計画の中で予算執行や事業進捗の制限をしている事業の今後について」は、2年に及ぶ新型コロナウイルス感染症対応で政策的にも財政的にも大きな爪痕を残そうとしています。財政的にも厳しさが増す中、現時点での進捗状況及び今後の方針を調査研究する予定です。

②「職員の能力を最大に引き出す今後の人事制度について」は、数年続いた職員の不祥事やコロナ禍における保健所の業務逼迫を受けての応援体制などを

を検証する中で、公務効率の確保等の観点から、勤務実績不良の職員に対し分限処分も含め、適切に対応していく必要が考えられるなど、他市の取組みも調査し当局に提言する予定です。

③「今後の内部統制や監査制度の在り方について」は、令和

3年9月定例会において市当局から所管事務報告を受ける予定であるが、本格運用の始まる内部統制制度により、監査委員にとっても内部統制に依拠した監査が効果的かつ効果的に実施できるよう、議会としても調査研究し市当局に提言する予定です。また、管外視察がコロナ禍でできない中ですが講師を招いて勉強会をする予定です。

当委員会の所管は広範囲であり、今回の新型コロナウイルス感染症対応で行政組織の課題が浮き彫りになった点も踏まえ、多岐にわたりますが大きく3点を調査研究することにしました。

民生 常任委員会

- 大原 智^長 ひぐち光冬^副
- 岩下 彰 大迫純司郎
- 川村よしと 町田 博喜
- 吉井 竜一 脇田のりかず

本委員会の令和3年度の施策研究テーマを、「新型コロナウイルス感染症対策に係る経済支援策について」、「空き地・空き家対策事業について」、「生涯学習事業の果たす役割と方向性について」の3項目と決定しました。

現場目線を大切に、真摯な議論を深めてまいります。

■新型コロナウイルス感染症対策に係る経済支援策について

第5波とも言われる感染拡大により、収束の見えないコロナ禍の影響を受けておられる市民と事業者の皆様に対する緊急経済支援策とワクチン接種が進ん

常任委員会は、市の事務の調査や、議案・請願の審査のために設置されている常設の委員会です。西宮市議会には5つの常任委員会があり、議長以外の全議員がいずれかに所属しています。今号では「施策研究テーマ」について掲載しています。
^長 〓委員長 ^副 〓副委員長 (記事は10月25日時点)

だ後を見据えた支援策について研究します。

■空き地・空き家対策事業

について

本年は、「西宮市空き家等対策計画(平成29年度〜平成33年度版)」の改訂事業が行われます。市民の皆様の声を日々頂く立場から、当委員会としても、この改訂事業にしっかりと関与し、併せて空き地における地域のお困りの声を反映して、提言としてまとめていきます。

■生涯学習事業の果たす役割と方向性について

本年4月に、公民館活動や図書館運営にかかわる「生涯学習事業」の所管が、従来の教育委員会から産業文化局に移管されました。

再スタートとなる、この事業の市当局内部の議論と歩調を合わせ、全庁横断的な生涯学習事業は何を目指すべきか、研究を深めていく予定です。

健康福祉 常任委員会

- うへだあつし^長 多田 裕^副
- 河崎はじめ 澁谷 祐介
- 田中 正剛 野口あけみ
- 山口 英治 よつや 薫

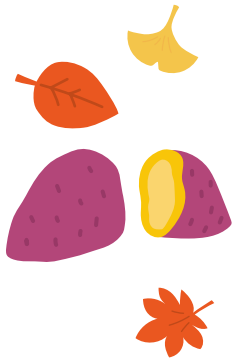
当委員会は保健所を含む健康福祉局と中央病院を所管しております。コロナ禍においては、ワクチン接種事業、疫学調査、入院調整、在宅療養者対応など、新型コロナウイルス感染症関連の議案も多く、慎重に審議を進めております。また、これと並行して、施策研究テーマについて取り組んでおります。

■本年度の施策研究テーマ

「ヤングケアラーについて」

皆さま、ヤングケアラーをご存知でしょうか?まずは多くの方に知って頂くことが、支援への第一歩です。ヤングケアラーとは「家族に

ケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートを行って「いる子ども」を言います。中学生の17人に1人がヤングケアラーとも言われており、昨今、大きな社会問題となっております。しかし、本市においてもその実態は十分に把握されておらず、有効な支援方法も確立されていないのが現状です。施策研究を進める上で『ヤングケアラーをどのように見つけるのか?』が大きな課題です。ヤングケアラー自身が家族のサポートで日々多忙であり、他の家庭との違いを把握しづらいことから、結果として、自身の心身の状態悪化を自覚できずにいる事も多くなります。また、困っていても相談できない・相談しないヤングケアラーも多いと言われており、最初にこの課題について、研究を進める予定としております。



**教育こども
常任委員会**

- 菅野 雅一(長) 松田 茂(副)
- 江良健太郎 かみたにゆみ
- 坂上 明 佐藤みち子
- 田中あきよ 山田ますと

令和3年度の施策研究テーマ

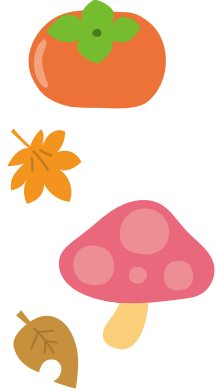
「子供の体力・運動能力について」と「子ども家庭総合支援拠点について」

に決まりました。当局に提言するため、調査・研究を進めています。

■子供の体力・運動能力

について

本市の子供たちの体力・運動能力に課題があることを深刻に受け止め、テーマに選びました。「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果によると、8つの調査項目のうち本市の小学5年生では、男子が握力や長座体前屈など5項目で、女子が握力や上体起こしなど7



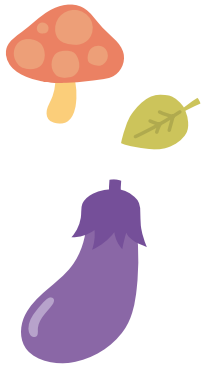
項目で全国の平均値を下回りました。中学2年生では、男子が握力と立ち幅跳びの2項目で、女子が握力とソフトボール投げの2項目で平均値より低い結果でした。小中・義務教育学校で取り組む体力向上事業などを調査し、専門家の知見などを聴取しています。

■子ども家庭総合支援拠点

について

市は令和4年1月、本庁内に全ての子供とその家庭、妊産婦等の福祉のため必要な支援を行う「子ども家庭総合支援拠点」を設置する予定です。児童福祉法で市区町村は整備に努めなければならぬと規定されており、児童虐待の防止などで大きな役割が期待されています。

支援拠点が機能して子供たちを取り巻く環境を改善できるように、西宮こども家庭センター(児童相談所)との連携などを調べています。



**建設
常任委員会**

- 篠原 正寛(長) 一色 風子(副)
- たかのしん 花岡ゆたか
- 福井 浄 松山かつり
- やの 正史

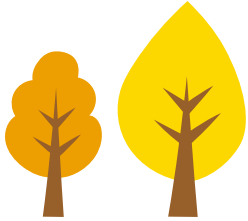
当委員会は開発事業、市営住宅等を所管する都市局、道路や公園などを所管する土木局、そして上下水道局を担当する委員会です。いずれも市民の皆様の暮らしを底支える大事な部門で、コロナ禍の影響を慎重に計りつつ、これからの時代に向けた業務の在り方についても建設的な議論ができればと考えております。

西宮市議会では、市当局からの議案提出や所管事務報告という業務の諮問を受けるばかりではなく、委員会側が担当所管の中で重要と思う項目をテーマ設定し原則一年調査研究、市に提言を行う仕組みがありますが、今回の委員会では以下、5項目をテーマとし、様々な研究・議論を重ねながら提言を目指すことになりました。

① **リゾ鳴尾浜跡地活用**の早期決定について(昨年で廃業した同施設の有効利用について早期決着を見ること) ② **本市開発行政の課題と地区計画制度**の在り方について(市民によりわかりやすい開発行政にするために) ③ **住宅セーフティネット**として目指すべき**公営住宅の在り方**について(公営住宅の将来像を

考え、その萌芽を次の十年計画に反映させること) ④ **工業用水道事業の今後の在り方**について(経営の将来が危ぶまれる工業用水道の改良法を見出す) ⑤ **本市水道事業の代表的課題と将来像**について(停電や大規模災害・テロに強い水道へ) 以上について研究して参ります。

常任委員会に関する情報は
こちらをご覧ください。



西宮市議会における新型コロナウイルス感染症対策

市民の生命・健康・暮らしを守るため、西宮市議会では、市と協力しながらコロナ対策の取り組みを進めています。



西宮市議会でのこれまでの取り組み

◆会議での3密回避

本会議場に入る議員を議案の採決時などを除き、原則半数程度まで減らし、市当局の出席者も最小限にしています（議場に入らない議員は、インターネット中継で議事を確認）。

委員会・分科会では、席の間隔を空け、市当局の出席者を最小限にし、説明員の入れ替えなども行っています。

本会議・委員会では、感染防止のため傍聴定員を減らして運用していますので、ご協力ください。

◆マスクの着用、換気・消毒の徹底

議会棟ではマスクの着用を徹底し、会議は原則、扉と窓を開放して行っています。本会議では、議員の発言場所をできるだけ演壇または対面式質問席に限定し、発言者が入れ替わる都度、消毒を行っています。

◆体調管理

議員に発熱症状や体調不良があるときは、議会棟への登庁を自粛しています。また、議員がPCR検査等を受ける場合は、事前に議長に報告することをルール化しています。

◆議会BCP（業務継続計画）

西宮市議会では、「議会BCP（業務継続計画）－感染症版－」を策定しています。また、BCPを補完する「議会行動マニュアル（感染症版）」についても議会運営委員会で協議し、作成しているところです。

これまでに議決した主なコロナ対策予算

（令和3年度の主要な事業より一部抜粋）

新型コロナウイルスワクチン接種事業

国、県、医療機関等との調整を進め、接種体制を確保するとともに、令和3年8月にワクチンの大規模接種会場を西宮北口に設置。



にしきた接種会場

PCR検査センター運営・検査費の公費負担

西宮市PCR検査センター、保健所での検査のほか、民間検査機関への委託、医療機関での検査費用の公費負担を実施し、検査体制を強化。

保健所体制強化のための派遣職員配置

新型コロナウイルス感染症患者の急増に伴う、患者や濃厚接触者及び医療機関等との連絡調整等の業務の増加に対応するため、医療資格者を保健所に増員配置。

自宅療養者への支援

入院調整中の自宅療養時に介護サービス等の継続利用が困難な場合、生活支援を行う支援員を派遣。食料調達が困難で、支援者がいない自宅療養者に10日分の食料や日用品を配布。



自宅療養支援セット

福祉サービス事業所・施設向け感染症対策支援事業

児童福祉施設、障害福祉サービス事業所、介護施設等における感染防止対策に対して必要な経費を支援。

商店街お買い物券・ポイントシール事業

地域商業の活性化のため、商店街等が取り組む期間限定のプレミアムつきお買い物券・ポイントシールの発行を支援。

妊産婦支援・育児支援サービス利用補助

安心して産前産後期を過ごせるよう、分娩前のPCR等の検査費用の助成や4か月児の個別健康診査、民間の育児支援サービス利用料の補助を実施。

避難所等における感染症対策

災害発生時の避難所に、感染症対策の衛生用品や間仕切りなどの資機材を配備。

[12面 市議会クイズの答え]

(第1問) ウ. 60歳代

30歳代(7人)、40歳代(7人)、50歳代(9人)、60歳代(11人)、70歳代(5人)。平均年齢は55.4歳です。

(第2問) ア. 市長のみ

予算案は市長〔執行機関〕が作成し、議会〔議決機関〕で可決されると予算が成立します。また、議会は収入・支出が適法かつ正当に行われたかを9月定例会で審査(決算認定)しています。

(第3問) ウ. 12分の1

議員が議案(条例など)を提出するには、議員定数の12分の1以上(西宮市議会では4人以上)の賛成者が必要です。また、可決されるには出席議員の過半数の承認が必要です。

(第4問) ア. 請願

市民は誰でも、市政に関する要望や意見を「請願」又は「陳情」として市議会に提出することができます。議員の紹介があるものは「請願」、ないものは「陳情」となります。





パソコンやスマホで 検索

市議会の情報は ホームページをチェック

西宮市議会ホームページ

<https://www.nishi.or.jp/nishinomiashigikai/>

★議会だよりのバックナンバーも掲載(過去10年分)



会議録 検索システム

本会議、委員会の
議事録が読める

本議会、委員会の議事録をもれなく掲載。
市議会の歴史がここに詰まっている!

- ・本会議は昭和37年12月定例会分～
- ・常任委員会は平成23年6月11日分～

本会議 インターネット中継

LIVE中継、録画中継が
見られる

傍聴に行けなくても、
本会議の様子が丸ごと見られる。
市議会でどんなことが議論されているのか
見てみよう!



一般質問の様子



採決の様様

他にもいろいろな
情報を掲載
しています

- 市議会議員にどんな人がいるのか知りたい!
⇒ 50音順議員名簿、会派・委員会別議員名簿
- 市議会の仕組みや議会用語がよく分からない
⇒ 市議会のしくみや仕事、議会用語の解説
- 市議会をいつ開催しているのか知りたい!
⇒ 会議等の日程(本会議、委員会)
- 請願・陳情の提出方法が分からない
⇒ 提出方法と注意事項、提出書類(様式・記入例)

市議会クイズ

(第1問) 西宮市議会議員のうち、現在一番多いのは何歳代でしょう?(令和3年10月1日現在)

- ア. 40歳代 イ. 50歳代 ウ. 60歳代

(第2問) 市の1年間の収入や支出の計画になる「予算」の案を作ることができるのは?

- ア. 市長のみ イ. 議長のみ ウ. 市長または議長

(第3問) 「条例」の案は市長と議員が提出できますが、議員提出の場合、議員定数の何割以上の賛成者が必要でしょう?

- ア. 4分の1 イ. 8分の1 ウ. 12分の1

(第4問) 次の文は何の説明でしょう? 「憲法に保障された権利で、市民が市政への要望や意見を市議会に提出する制度。提出する際には、議員の紹介が必要となります。」

- ア. 請願 イ. 陳情 ウ. パブリックコメント

クイズの答えは11ページにあります。

市民のみなさまから 表紙写真を募集中!

締切12/28(火)まで

テーマ 西宮市内の魅力を紹介できる写真

締切 令和3年12月28日(火)まで ※募集期間延長

- 提出物
- ①プリント(2Lサイズ)またはメディア(JPG形式、CD-R・DVD-R)、縦・横どちらでも可
 - ②タイトル、住所、氏名(フリガナ)、電話番号、撮影場所、撮影日を明記したもの

応募方法 上記①と②を郵送または持参

提出先 〒662-8567
西宮市六湛寺町10番3号
「西宮市議会事務局」宛

- 広報委員会で掲載写真を選考します(年4回)。
- 採用された方には粗品を進呈します。●春夏秋冬、どの季節の写真でも構いません。
- 未発表・オリジナル作品限定。人物が特定されるなど、掲載に許可が必要な写真は、相手方の了承を得てください。●採用発表は誌面で行います。採用時には、タイトル、氏名、住所(町名)を掲載します。●応募作品は返却しません。

